



株式会社ディスコ

業 種 / 製造業
 主な事業内容 / 精密加工装置の製造ならびに販売
 従業員数 / 4,261人

備 蓄

災害時でも一級の製品とサービスを提供し続ける会社戦略

会社、社員の共助としてスタートした防災活動。東日本大震災など、様々な大規模災害を経験する中、災害時の事業継続活動(BCM)のため防災活動を構築し運営。

社内での備蓄はローリングストック式で倉庫内一括管理。社員の各家庭内でも寝室の耐震化や1か月分の生活必需品の備蓄を推奨している。



市販の商品を組み合わせたオリジナルの簡易トイレ

社内食堂で使用する白米約1トンをローリングストック

社屋の11階に設置している25mのスイミングプールの水は生活用水として使用可能



エレベーターホールの脇の部屋にも備蓄品を保管。発災直後に必要な物は、既に台車に積まれている。廊下を抜けてスムーズに対応が可能



全ての備蓄品倉庫には、運搬の為に台車を用意

周 知

社内でのBCPポイント制度

各社員にBCP(事業継続計画)ポイントを設定し、活動を促している。震度5弱の地震に対する安否確認への48時間以内の返信、毎朝の体温登録、半年ごとの各家庭での備蓄品の撮影報告等、活動ごとにポイントを付与。半年に一度それを合算し現金を支給。

120~140ポイントで100%の目標達成となる。	●ポイント例	
社員の災害に対する対応能力と意識の向上を支援している。	全国で震度5弱の地震が観測された。安否確認に対して48時間以内に返信すると…	8ポイント
	家庭の備蓄品を3か月に1度写真撮影し報告すると…	10ポイント

カードオペレーションによる対応

カードには災害発生時の行動が書かれている。本社の自衛消防隊である寮生が、災害発生時によりスムーズに対応するためのツールのひとつ。災害時、現場にいる社員に配り、対応してもらうことも想定している。



優先順位が赤→黄→緑と色分けされている。効率の良い行動が可能

社員の住居は会社の近くに

災害時の帰宅困難、出社困難等、様々なリスクを回避するため、通勤手当、住宅手当を一律とし、社員にはなるべく会社の近隣に居住することを推奨している。徐々にではあるが、予想以上に効果が現れている。

家庭でも防災の話題を

社内報には防災についての連載記事を掲載し、社員に周知。社員が各家庭にそれを持ち帰り、それを家族も読むことにより、さらに防災意識が共有される。



自分の身を 守れる社員に育成する

災害時の初動は社内にいる社員や来客者の安全確保。体調不良者や怪我人に対応する。

プライベートや通勤時間に災害が発生したとき、自分で考え、自分で自分を守る社員の育成を目指している。

●どこへどう逃げるか訓練で徹底



緊急地震速報が鳴る、あるいは地震が発生したとき、危険な物が少ない「廊下か会議室」へすぐ逃げ訓練を徹底している。

●安全に逃げるポイント7

1. 緊急地震速報が鳴ったら、ただちに逃げる
2. 椅子をしまう
3. 避難経路を通る
4. 早足で移動する
5. できるだけ先に進む
6. 危ない物が無いか確認する
7. 尻と手を床につけて座る



●動かずに耐えるポイント3

1. 揺れたら、とにかく立つ
2. 危ない物がないか確認する
3. 両手と両足で耐える



●社屋構造の違いで逃げ方も変える

